

Press Release(R2/ 1/29)

大学生もアクティブラーニング 税理士、附属教員と協働で作った租税の授業公開

1月30日(木)に岐阜大学教育学部附属中学校にて、大学生が自身で考えた公民の授業を岐阜大学教育学部附属中学校で実践します。

テーマは「租税について考える」です。今回は、大学生が4つのグループに分かれ、税理士、附属教員と協働で作った租税の授業を、中学校3年生に向けて実施します。また、税理士と協働で授業の振り返りの会も予定しています。

本企画は、社会科教育の研究を進めている本学教育学部須本良夫教授が税理士との協働講義において、大学生に租税の持つ意味を考えさせ、さらにその理解を中学生の社会科公民の授業を考え行うことで、大学生自身の租税に関する理解度が図れるのではないかと想定で実施し、本年度で研究の最終年を迎えます。

これまで、大学の授業のアクティブな学びは教育学においては困難さが伴うと思われていましたが、これまでに実施した学生たちの反応からは、中学生に教えることで主体的に考える必然に追い込まれるということが明らかにされてきました。授業では、大学のそのような学びの姿も、中学の公民の授業によって発表されます。下記の通り、実施しますので、当日の取材についてよろしくお願ひします。

記

日時 令和2年1月30日(木)

会場 岐阜大学教育学部附属中学校(岐阜市加納大手町74)

当日タイムテーブル

9:00~ 9:20	当日の流れの確認
9:20~ 9:35	移動・準備 3年生教室(4階)へ
9:35~10:25	2時間目 3年1組 3年3組
10:35~11:25	3時間目 3年2組 3年4組
11:25~11:40	移動・休憩 大会議室へ
11:40~12:20	授業の振り返り

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学教育学部社会科教育講座 須本 良夫

電話: 058-293-2233

E-mail: sumo440@gifu-u.ac.jp